

きもの豆知識

お召とは

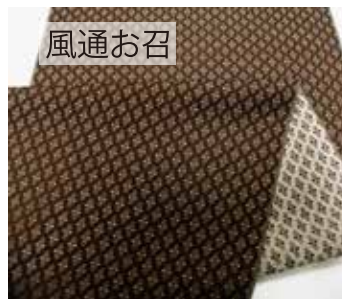
着物の世界にふれていると『お召（おめし）』という言葉をよく耳にしたいと思います。しかしながら、実際にどのような用途のどのような着物なのか、しっかりと知っている方も少ないのではないのでしょうか。

お召の技法

お召の定義は、先練り先染めといって糸の表面についている糊気を先に落とし、糸を染めてから生地を織り上げていきます。この工程は染物に使ううちりめんの工程とは反対で、こちらは反物に織り上げてから、糊気を落とし、そのあとに染めていきます。お召の特徴は、シャリツとしていて、裾さばきがいいのもお召の特徴です。

お召の用途

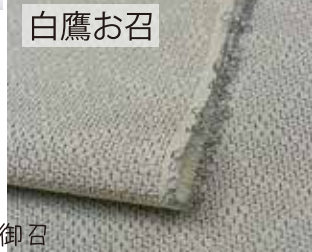
矢絣など柄の大胆なものは、あくまでもカジュアルですが、格調高い地紋の無地系のお召は紋を付ければ色無地と同格に着ることができます。



風通お召



マジョリカお召



白鷹お召

お召の種類

- 西陣お召 経糸に強撚糸を使ったお召
- マジョリカお召 多色使いで、遠目には染めにみえます
- 白鷹お召 板締めで絣を作る山形県伝統の織物
- 本塩沢 独特のシボ立ちがあり、さらりとした着心地が魅力
- 上代お召 経糸に御召経と紬糸の二種を用い、紬風の素朴な地風を出しています。
- 縫取お召 地の糸とは別の金糸や銀糸、色糸を織り込んで模様を出した御召
- 風通お召 風通織という特殊な二重組織で織った御召のことで、二重の経糸、緯糸を用いたもので表と裏の文様が反対の配色になる

歌舞伎のススメ ~歌舞伎の座席ごとの楽しみ~

歌舞伎をより楽しむ際に、どの席に座るのかということはとても重要な要素。といいますのも、歌舞伎の劇場は、1階、2階、3階と席があり、さらには両サイドの棧敷席や特別席、花道付近といったように、変則的な座席構成になっており、見る場所によって、色々な楽しみ方ができるのも歌舞伎の楽しみの一つです。チケットを購入する場合、特別席、1等席、2等席、3等席と階級があり、それぞれチケット代が違います。座席の割合で行くと1等席が一番多く、2等席、3等席はリーズナブルな代わりに数が少ないため、なかなかとりにくいのが現状です。どの席がいいというのではなく、席ごとに見え方が違いますし、それぞれの面白さがあります。

一般的には舞台に近い席は役者も近くで見えるので人気がありますが、両サイドの一段高い席は、客席も含めて舞台全体を見渡せるので、全体の雰囲気を楽しむためには最適です。花道近くの席は、花道を駆け抜ける役者さんの息遣いを感じることができます。また、2階席は上から全体を見渡せますし、3階席は歌舞伎の醍醐味でもある、大向こうをする方たちを間近に見ることができます。10月に大阪松竹座に行ってきました。その時は、花道の真横の席をとったのですが、上演の演目が花道をダイナミックに駆け回る神明恵和合組（かみのめぐみわごうのとりにくみ）という火消しと力士の喧嘩を描いた演目だったので、花道近くは臨場感のある舞台を見るのに、最高の席でした。



新コーナー あそびの玉手箱

男性のおしゃれといえばスーツ。ビジネスの勝負服でもあり、また、ジャケットはカジュアルからちょっとしたフォーマルな場に出かけるための、男性の身だしなみの服装です。かつて男性の一番の正装は紋付き袴であり、結婚式や祝いの席には皆が着用していましたが、戦後の高度成長期や日本人の生活様式が西洋風に変化していくのと同時に、着物姿から西洋式のスーツへと変貌していき、今やスーツ姿は最もポピュラーな服装となりました。女性から見たら、あまり変化や流行の少ないように見えますが、じつは毎年少しずつ変化しており、かつて自分たちが成人を迎えた際は、ダブルのスーツが流行でしたが、それからシングルになり、ゆったり目からタイトになり、丈も短めがはったりと時代とともに変化しています。ですから、あまり着用頻度の少ない方はついつい数十年前の形で着てしまいがちですが、流行を取り入れたモダンなスタイルは『できる男』の勝負服でもあるのです。かわちやでも12月1日2日にオンワードのセミオーダー受注会を開催しております。奥様方、ご主人や息子さんを男にしてあげてください。なんてね（笑）。



竹次郎~ TAKEJIRO CAFE ~ コラム



『聊自楽（りょうじらく）』。ちょっと自分で楽しむという意味だそうです。カフェにご来店の方に最近よくお尋ね頂のですが、不勉強のため、詳しくわかりません。どなたの作なのかお分かりになる方は是非ともお教えてください。

今月のコーディネート



寒くなってきました。格子柄の裏付きのジャケットに、高貴な色ともいわれている紫のインナーを合わせて、カジュアルな中にも上品で華やかな雰囲気。行楽の秋にピッタリのコーディネートです。

綾小路ジャケット 57,240円
インナー 7,452円
パンツ 4,980円

かわちやの

着付教室 12回

1回1000円

かわちやの着付教室は、それぞれの目的やスケジュールに合わせたカリキュラムを組んでいきます。

かわちやの
ワンポイント着付教室
1,000円
半巾帯の結び方など
ピンポイントでお教えます。
(2時間)

お気軽にご相談ください。

お問い合わせは 大橋幸子まで

TEL 0563-35-0039

イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE

11月22日（木）～26日（月）

女性作家三人展を開催します。

オンワードスーツセミオーダー受注会

12月1日（土）2日（日）